

子どもの未来を育む家庭教育3つの提言より 「心身のバランス」取組実践案



○ 協議会で出された課題

- ・ 生活・スポーツ・遊び等でのルールが守れなくなっている。
- ・ スポーツや遊び等の指導者不足、経済的困窮。
- ・ 少子化、遊ぶ機会の減少、虐待やDV、精神疾患
- ・ 学校での時間が長く、外遊びができない
- ・ 集団スポーツができない、体を動かす場がないといった地域や環境の課題。
- ・ 保護者の子どもに対する過干渉、友達を作れないといったコミュニケーション能力不足
- ・ 隣近所といった地域とのかかわり不足

* 実践案（この他の取組もOK!(^^)!

- (1) プレイリーダーの育成。大人と子どもで遊ぶ機会をつくる。
- (2) 家族で過ごす時間、スマホに触れる時間・時期を決める（学校や行政から提案する）
- (3) 遊び場や体験活動の確保（環境へのアプローチ）
- (4) 地域での親の支援、地域での子育て（保護者へのアプローチ）
- (5) 体験の機会、子ども食堂、情報提供（子どもへのアプローチ）
- (6) 地域が変われば学校も変わる。⇒子どもが変わる
- (7) いろいろなものに触れさせるのは大人の責任
- (8) 大人だけで決めるのではなく、子どもからの意見も尊重する（子ども基本法第3条の実践）

自分たちだけでがんばるのではなく支援者同士、自治体、事業所、各部局等がつながり合い、助け合い、みんなで実践し、効果的なことは共有していきましょう。できることから少しずつ始めましょう。